

成願寺

季報

143

令和7年2月18日
(2025年)

目次

「能登半島地震支援活動報告」小野大龍	1
中野たから幼稚園バザーの報告	3
山内短信	5

発行 多宝山成願寺
〒164-0012 東京都
中野区本町 2-26-6
電話 03-3372-2711

能登半島地震支援活動報告

宮城県広最寺 副住職 小野大龍



高野山真言宗千住院の北原密蓮住職と成願寺副住職

昨年十一月二日から五日までの日程で、能登半島地震の支援活動を行って参りました。

二日は支援物資の搬入予定でしたが、現地は大雨だったため中止となりました。三日は輪島市にある「輪島市災害たすけあ

◎春彼岸中日法要「修証義奉読会」のお知らせ

三月二十日(木) 春分の日

十一時 受付始まり
十二時 講談 日向ひまわり師
十三時 中日法要



◎京王バス「成願寺前バス停」脇のスペースについて
京王バス(渋64・渋谷駅―中野駅)「成願寺前バス停」の脇に掲示板とベンチを備えたスペースがあります。これはバス停の利用者に、風雨を凌いでいただければとの考えで、成願寺敷地内に設置しています。

夕方五時までは、幼児・高齢者の方々の一時の休息にもお使いいただけますが、その他の利用はご遠慮ください。

いセンター」を訪問し、飛び込みでボランティアに参加しました。

日曜日ということもあり、県内外から三百名位のボランティアさんが集まり、グループ分けの後、各場所への移動となりました。

移動する前に注意事項などの説明を受けるのですが、今回は地震の影響というより、九月に発生した豪雨災害の支援がメインとなること、地震の影響で倒壊する建物がまだまだたくさんあるということ、様々なニーズがあるため、ボランティアさんではなかなか復興が進まない現状などの現地の方々しか分から



輪島市災害たすけあいセンターの様子

ないお話は大変貴重と感じました。

今回、私が参加したグループは輪島市の朝市があった場所でした。地震で大規模火災があった場所で、テレビでその映像を観た方も多いと思います。

最初は貴重品を探したいという個人からの依頼でしたが、山積みになされた土嚢袋の撤去が最優先ということになり、約半日をかけて撤去作業をしました。依頼主の奥様が大変明るく元気な方だったので、作業終了時刻が近くなるにつれて、寂しそうな表情をされていたのが印象的でした。

私自身の東日本大震災被災の経験から、最初の元



倒壊したままの建物



対岸に見えるびっしりと置かれた土嚢



仮設住宅

日の地震から一年が過ぎ、震災関連死「自死等」が増えていくのもこれからだと思います。そういった心のケアも今後の課題だと感じますし、その部分の人員をどう確保していくのが、これからの復興支援のあり方を考える上で重要なポイントだと思います。

四日は、羽咋市の永光寺様の瑩山禪師七百回大遠忌に、成願寺副住職様のご随喜されるという事で、待ち合わせをして一緒にさせていただきました。

法要終了後、總持寺祖院様に拝登して参りました。その際、受処にて、成願寺様からの義援金を納めさせて頂きました。

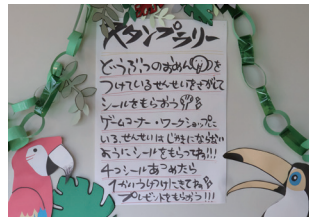
また、今回の大地震での支援物資等の窓口となつてくださっている、穴水町の高野山真言宗千住院、北原密蓮住職にお目にかかり、成願寺様からの支援物資の受け渡しをいたしました。

ご報告申し上げます。

合掌

◎中野たから幼稚園バザーの報告

昨年六月十六日(日)、中野たから幼稚園父母の会主催のバザーが開催されました。



日曜日に保護者やきょうだいと一緒によってきた子どもたち。普段と違う園の雰囲気になくわくしながらの登園です。最初に受付でチケットとスタンプラリーを受け取ると、楽しみにしていたバザーの始まりです。

このバザーは、父母の会役員



登園すると最初にスタンプラリーを受け取ります



飾り付けもかわいい受付



ワークショップで「キラシャカカプセル」作り



ゲームコーナー「スーパーボールすくい」



盛況な飲食スペース



フリーマーケットの様子



ワークショップ「マイトートバッグ」。色とりどりの作品。



ゲームコーナー「くじ」



インスタ風のフォトスポット



園庭のキッチンカー

七月六日（土）は場所を成願寺境内に移して、外部の方へ向けてフリーマーケットを開催。役員のみなさま、お疲れ様でした。

楽しいひとときを過ごしました。

キッチンカーと多彩に企画されて、子どもも大人も

さんが中心となり企画実施され、バザーの収益で楽しみ会の企画をしてくださったり、子ども達がよく園生活を送れるよう園の備品などを購入して

いただいております。物販、ワークショップ、ゲームコーナー、コンサート、ビンゴ、フォトスポット、

山内短信

◎大般若祈禱会「宝牌」を新たに安置



正月の恒例行事、大般若祈禱会が今年も一月十二日（日）に厳修されました。昨年の法要より、祭壇に安置される宝牌を新たにいたしました。制作は山本仏具店（元浅草）に依頼。けやき製摺り漆塗りで左記の願文は葉研彫り、金粉が施された金文字。台座には寺紋「大観通宝」がつけ彫りされました。

無位真人現面門 智慧愚痴通般若 多寶山

奉轉讀大般若經六百軸金文專祈心願成就諸緣吉祥

靈光分明輝大千 鬼神何處着手脚 成願寺

願文の揮毫は住職によるものです。寺紋「大観通宝」は、京源三代目で紋章上繪師・波戸場承龍氏の意匠です。京源は家紋による新たな表現を作り出す工房で、波戸場家は当山のお檀家様です。

◎初観音縁日法要の報告

去る一月十八日（土）、恒例の初観音様の縁日法要が厳修されました。

午後二時、信徒のみなさまが観音堂に参集すると、般若心経と観音経を讀誦いたしました。お焼香、参拝のあと、書院に移動。「五観の偈」を唱和して住職から新年の挨拶、続いて乾杯をすると、お寺でお供えされた鏡餅の入ったお汁粉をいただきました。

和やかなひとときを過ごしたみなさまは、それぞれの願文の入ったお札とお土産を頂戴して散会となりました。



「理趣分経」を転読する副住職



五観の偈を唱和する参会者

◎竹のお礼状が届く



毎年七夕の季節になると、近隣の幼稚園や保育園、児童館等から竹をわけて欲しいと連絡がきます。昨年は区教育支援室（中央一

丁目）からも要望があり、差し上げましたら、写真付きで、「子どもたちも大層喜び、大勢で七夕の行事を楽しむことができました」とお礼状が届きました。

◎沖縄伝統古武道世界大会優勝

昨年八月四日（日）、「二〇二四沖縄伝統古武道世界大会」が沖縄県豊



世界大会で「右中段突き」を繰り出す諸田師範

見城市の空手会館で開催され、当山を道場とされている沖縄空手道剛柔流尚礼館師範諸田博さんが「男子シニア棒の部」で見事優



成願寺道場での練習風景（少年の部）

金メダルをかける諸田師範

勝。世界チャンピオンの座に輝きました。尚礼館成願寺道場は四歳から九十四歳までの約百二十人が火・木・土曜日の十七時から三部制で稽古に励んでいます。ちなみに、映画「ベストキッド」の原作者は、尚礼館ニユーヨーク道場の出身です。お稽古をご希望の方は是非見学にお越し下さい。

練習日：火・木・土曜（十七時～二十時三部制）

入会金：五千元

月謝：六千円～七千円（年齢による）

問合先：鈴木指導員 〇八〇七七七一〇〇五

詳細はホームページをご参照ください。



QRコードから道場の紹介動画をご覧になれます。

◎小笹庵（南書院）の和室に「炉」を設置



スライドの動きを確認する岩崎先生

檀信徒、地域の皆様
に広くご利用いただい
ている小笹庵（南書院）
に新たに「炉」が設置
されました。

「炉」は茶道において、
十一月～四月の間に使
われます。畳の一部を
切り、そこに小さな囲
炉裏を設え、灰を入れ、
炭を熾して、五徳に釜を乗せて湯を沸かすのです。

この工事に際し、当山にて茶道教室「ひさごの会」
を主宰されている裏千家准教授巖崎先生より、茶
室や和の建築に造詣の深い建築家岩崎泰先生をご紹
介いただきました。岩崎先生はこれまでに八十件以
上の茶室を手がけてこられ、特にご考案の「スライ
ド式『炉』」は時代の要請に即して「炭火」と「電気」
を使い分けることのできる優れものです。

小笹庵の和室は、お仲間との趣味のお茶会などにご
ご利用いただけます。利用希望の場合は寺務所まで
ご相談ください。

◎第十四回「小江戸大江戸200k」開催



「成願寺エイド」となった長者閣の様子

昨年三月九日（土）、十
日（日）、第十四回を迎え
た「小江戸大江戸200k」
（NPO法人小江戸大江戸
トレニックワールド主催）
が開催されました。

この大会は「広大な関
東平野を感じる小江戸、
東京の新旧名所を巡る大
江戸、そして再び小江戸
へ。知らなかった自分と

首都圏を巡る旅」と題されて川越の会場をスタート。
短くて九十km、長くて二百六十kmという五つのコー
スが設けられ、約八百名の参加者は制限時間までの
ポイント通過とゴールを目指すというタイムレース。

当山は第一回目より「成願寺エイド」として会場
を提供（エイドとは、参加者が水分や食べ物や補給
する場）。三百名ほどが利用して、毎回「成願寺エ
イド」の名物として大会スタッフの皆さんが振る舞う
鹿肉カレー、フルーツサンド、野菜スープなどが提
供されました。

◎曹洞宗石川県宗務所へ復興支援金を納める

昨年、孟蘭盆会、秋彼岸会の際に復興支援金のご

このたびの能登半島地震に際しまして復興支援金を頂戴し、ご厚情のほど誠に有難く心より御礼を申し上げます。

現在、石川県宗務所では災害対策本部を中心に、被災寺院の状況に合わせ、可能な限りの復興支援に取り組んでおります。この度お預かりしましたお見舞いは、被災地の一日も早い復興の為、大切に使用させていただきます。

どうぞ今後とも変わらぬご指導、お力添えをお願い申し上げます。

略儀ながら取り急ぎ、書中にて御礼申し上げます。

令和六年十一月

曹洞宗石川県宗務所長

屋敷智乗九 拝

成願寺檀信徒有志一同様

領 収 書	
東京都中野区 成願寺檀信徒有志一同様	
領収金額	金 167,338 円
但し	令和6年能登半島地震 復興支援金 として 令和6年11月7日 上記の金額領収いたしました
曹洞宗石川県宗務所 会計 印	

◎旧防空壕、日本テレビの取材を受ける



本堂前でインタビューを受ける住職の孫・堯成

日本テレビ「Oh! NEWS LIVE」(月・金 朝四時半〜五時五十分)では、今年戦後八十年を迎えるにあたり「街に遺る八〇年の記憶」と題し、「今なお残る戦争のつめあと」を紹介されています。去る十二月二十日、小野夏望ディレクターとカメラクルー二名が来山。旧防空壕が取材を受けました。その様子は一月十七日に放送されましたが、日テレNEWS 公式 YouTube で配信がご覧いただけます。

寄付の協力をお願いしたところ、多くのみなさまにご賛同いただきました。誠にありがとうございました。昨年十一月七日、十六万七千三百三十八円を石川県宗務所へ送金させていただきました。宗務所長の屋敷智乗老師より礼状が届きました。